

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒130 東京都墨田区  
東駒形1-16-7  
第1ホークプラザ303号  
TEL.(03)3625-7307  
発行責任者  
運営委員長 渡辺孝一

中郵便振替口座  
00150-4-15754  
(変更になりました。御注意を)  
中銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 骨髄バンク推進議員連盟 渋谷ハチ公前で市民に訴え



街宣車上は下村議員、マイクを持っているのが福島議員、チラシを配っているのが河村議員。

つたのは東京・渋谷駅のハチ公前広場。人通りの多いことでは都内でも屈指の場所です。用意したチラシ類は一時間足らずですべて配り終えてしまいました。参加議員は下村泰(参)さん、河村たかし(衆)さん、福島豊(衆)さんの三名でしたが、国会開会中で参加できなかった議員は秘書たちが駆けつけました。関東地区のボランティア三十名、財団と厚生省からも応援に加わり、ハチ公前広場は骨髄バンク一色となりました。



下村議員はのぼりの組み立てもお手伝い。

## やまがたの会 設立される

昨秋に発足した骨髄バンク推進議員連盟と骨髄バンクを支援する若手議員の会が、全国協議会の呼びかけに応え、初めて街頭に立って市民に骨髄バンクへの理解を訴えました。

一月二十七日、その日は相撲

東北地方唯一の空白区だった山形県にボランティア団体が誕生しました。結成された「やまがたの会」よりメッセージが届けられましたので紹介します。

二月十二日、「骨髄バンクを支援するやまがたの会」設立総会が森真由美財団普及広報委員長はじめ、多数の御来賓の御臨席を賜わり、山形市中央公民館にて開催されました。

全国各地のボランティア組織はじめ、イタリアミラノからオ

ベラ歌手市原多朗さんからも祝電が寄せられました。総会では会長に林正山形大学名誉教授、副会長に脇山淑子弁護士、多田峻一日本青年会議所山形ブロック協議会会長を選出しました。同時に「全国協議会」への加盟を万場一致で決議しました。

「やまがたの会」は先進諸組織の経験に学び、後進なるがゆえの責任」を果たせることを願いつつ、その産声を上げました。皆さんの祝福と激励に心から御

## 大谷副委員長に 朝日社会福祉賞 贈呈式と祝う会



中江朝日新聞社長から正賞のブロンズ像を贈られる大谷副委員長(1月30日)。



祝う会(1月31日・新宿)。

礼申し上げます。(佐藤良和)

長は「この賞はバンク運動を進めてきた多くのボランティアにプレゼントされたものと思っただけでした。皆が喜んでおられると思います。これで明日への希望の光が広がった気がします」と語りました。

また、翌三十一日には東京新宿で、財団主催の「大谷さんの受賞を祝う会」が行われました。財団事務局職員の他、高久副理事長や各委員、日赤からは十字中央骨髄データセンター所長など、また関東地区のボランティアの仲間や骨髄バンク報道にたずさわってきた記者たち総勢五十名が集まり、共に夜遅くまで受賞を喜びました。

## 三谷リポートの「意見書」提出

全国協議会では昨秋公表された「日本骨髄バンク事業の現状分析と総合計画の策定に関する報告書」(三谷リポート)について、二月十三日財団に意見書を提出しました。

これは全国各団体からの意見と、有志による詳細な検討の結果、多数の修正すべき箇所と、分析不足の点を指摘したもので、早急に最終報告の形にまとめて欲しいという内容になっています。

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

★山形県で、チャリティーコンサートと「支援する会」の設立  
2月12日(日)に山形市中央公民館ホールにて、財団の主催で「骨髄バンク支援、あったかい手コンサート」が開催されました。南陽市のアーティスト須貝智郎さんを始め多くの皆さんの演奏を、500名の参加者が堪能しました。

★公共広告機構のテレビのCM内容変更  
三瓶徳子ちゃんが出演し骨髄移植推進を訴える、公共広告機構のテレビCMの内容が、従来のものから一部変更されて放映されることになりました。

頭髪のない子供の姿が映っていることと「何人が死んじゃった」というせりふに対して、一部の患者の親御さんから公



## 心からのご寄付を ありがとうございました

1月19日～2月18日まで

野村隆・真由美・隆行	現金	30,000
葛巻ライオンズクラブ	切手	945
佐野青年会議所	現金	362,631
唐橋聡・睦	現金	100,000
高層なでしこ会	切手	2,489
宣法寺	現金	52,281
石橋英昭	現金	1,000
喜瀬輝代	絵ハガキ	89セット
阿原一良	現金	10,000
伊勢原ライオンズクラブ	現金	50,000

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



心の響きがか  
聞こえてきます。

言葉よりも深く、強く、  
わかりあえる瞬間があります。  
伝えあう喜びと通じあえる感動を  
NTTはあなたとともに広げていきます。

# 大地震を乗り越えて…

## — 関西の仲間たち —

一月十七日未明に発生した阪神・淡路大震災は世界中の人々に心配をかけました。まさかこんな大地震がおこるなんて…非常に大きなショックを受けています。全国からの暖かい支援に被災した方々もどんなに心強く思われたでしょう。各医療機関、兵庫県赤十字血液センターも大きな被害を受けました。輸血用の血液が供給出来なくなるとは、心配しました。が、マスコミ等で『献血のお願い』が報道され、多くの方々が献血に協力してくださることに感動致しました。全国規模の支援のおかげで、被災地には順調に対応できそうです。

報道される被害の大きさに私達、骨髄ボランティアはなす術もなく、被災地にいる仲間にはしばらくの間は連絡もとれませんでした。倒壊した病院に入院していた血液疾患の患者さんもあり、化学療法最中でしたが、ガレキの中から這い出たそうです。現在では転院して輸血を受けながら、次の治療を待っていると話してくれました。

また、交通・通信の寸断や社会情勢の混乱で、計画していた行事も全て取りやめになるのかと思われました。四日後の一月二十一日に予定していた(財)骨髄移植推進財団公報委員長森真由美先生をお招きしての関西骨髄バンク推進協会運営委員会やいくつかのイベントは、交通事情を考慮して延期をいたしました。同日の和歌山県橋本市でのシンポジウムや一月三十日兵庫県相生市内の高校での講演会



は予定通り開催できました。相生市の講演会に招かれていた奈良のボランティアは、満員の迂回路を利用して参加しました。

二月に入り、関西協会、近畿各府県のボランティアも予定通り進めています。交通事情が悪い上に、仕事や日常生活の地震の復旧に追われてボランティアの足並みもなかなか揃わないのが現状です。しかし、五千数百名の尊い命を奪った大地震ですが、毎年、同じ数の白血病患者さんが病魔に苦しんでいます。バンク活動を休む訳にはきません。様々な困難や障害もあるかと思いますが、関西ボランティアの力を結集してこの危機を乗り越えようと思っております。どうぞ全国のみならず、兵庫県をはじめ関西を応援して下さい。私達も力の限り一生懸命頑張ります。(関西協会)

### いわきの仲間から 被災地へ救援物資を 緊急輸送

一月二十一日夜十二時ごろおにぎり三千個、飲料水十リットル容器で百個、毛布五百枚、その他カンヅメ、日用品類等いわき市民の善意を四トントラックに満載して神戸に届けることが出来ました。

出発から無事いわきに帰るまで四十八時間の強行軍でした。

地震発生直後から支援物資を送ろうと行政、マスコミ等数十所に問い合わせたが「どうすれば送れるか」などの適切な情報が全く得られず運送業者の会員が「自分で届けよう」と言いだして今回の救援物資輸送作戦がスタートしました。

要した時間は約三十時間。骨髄バンクのボランティアネットワークが大きな力を発揮しました。おにぎり三千個を作るのに会員の友人から友人へ声をかけて集まってくれた人約七十人。水の容器は病院で産業廃棄物になる透析用のポリ容器を百個調達等々。

また、百五十キロの米の提供と炊き出しは結婚式場、物資を集めてくれた建設業共同組合の方々、積み込み作業を寒空の中手伝ってくれた皆さん、多くの方々の協力があったその思いがほんの僅かといえ神戸の皆さんに届いたことを嬉しく思います。

阪神地区の一日も早い復興を願うと同時に、息の長い継続的な支援活動を続けることが同じ地球に生きる人間として重要なことと感じています。(福島、いわき)

### 各地のたより

#### 姫路

##### 日本舞踊と座談会

姫路地区骨髄バンク推進センターでは昨年暮れに「大和の心 倭美彩美」と題して座談会、日本舞踊、芸術展等の立体的な企画をいたしました。毎年十二月に計画しているクリスマスチャリティコンサートに計画に加えての新しい企画でしたので、尾上菊博司先生、尾上菊矢先生の全面的なご協力と、この一年ボランティアの専任スタッフとして働いている岩本和義君の協力無しには実現できなかったこと

とだと振り返る中で考えております。この企画を通じて私たち日本人の心のふるさとを見つめ直し、また、より多くの人々に正しく骨髄バンクを理解していただくためにも、今後のバンク運動のためにも色々なことを考えさせられた企画でした。

日本舞踊とは日頃縁遠い私たちなのですがその踊りの繊細さに人の生きることの尊さを知り、座談会での「場」のお話では須田先生、桑原先生が医学的な立場、心理的な立場より、今後のボランティア活動をする意味でもより興味深い示唆を与えられました。芸術展部門では播磨の地区で活躍する遊人会のみならずが作品を通じて「創るよろこび」を骨髄バンク運動を励ます意味でも与えていただいたように思える集会でした。本当に多くの皆様方の温かいご協力に感謝致します。(三田)

#### 群馬

##### 八自治体広報紙で PR

昨年のシンポジウムの宣伝活動で自治体を訪問した際に、広報紙で骨髄バンク事業を宣伝してもらおうとお願ひしました。その際、担当の方から「そちらで原稿を書いてくれれば、検討しましょう」という好意的な反応が多数ありました。

そこで私たちは、十二月の骨髄移植推進月間」に呼応して、県内の全ての市町村(七十ヶ所)に原稿を同封した上で、広報紙で骨髄バンク事業を宣伝してもらおう、手紙でお願いしてみました。

その結果、一市六町一村の計

#### 千葉

##### 県と主催で 骨髄バンクを知る集い

乾いた真冬の千葉には珍しく雨の日曜日となった一月二十三日、骨髄バンクを知る県民の集い」が佐倉市の志津コミュニティセンターで開かれました。

アニメ「金色のクジラ」の上映に続いてのパネルディスカッションには原作者の岸川悦子さんも加わり、専門医、移植経験者、ドナー経験者、推進財団、それぞれのパネラーの方々の貴重な体験などを交えての語り、会場に集まった三百人ほどが熱心に聞き入りました。終始、手話通訳もありました。

そのあと、地元の佐倉市立白井小学校合唱部と、八千代少年少女合唱団によるミニコンサート。子供たちの澄み切った歌声が響きわたり、会場の気持ちもひとつになったところで、全員で「翼を下さい」を大合唱。心暖まる集いになりました。

今回は、千葉県との共催という事で、チラシ配布や公共の場所へのポスター掲示など、地域でのPR活動も効果的に進め

#### 東京

##### ミュージカルの 感動にプラスα

東京・品川で一月二十六日、東京コミュニケーションシアター専門学校で学生さんによる骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」が上映されました。で千名の満場の観客が感動した興奮も絶頂に達したフイナル直後のことでした。

舞台の百二十人もの若者に迎えられる、登場した一人の娘さん——

「死に直面して初めて生きる意味を問いました。今までは、ただ漫然と過ごすだけでしたが、これからは、一日一日を大切に生きていこうと思います。私が、今、こうやって皆さんの前で話ができるのも、命を与えてくださったドナーの方のおかげです。そしてまた、たくさんの方が応援してくれました。ありがとうございます。」

ることができました。また、当日の会場運営には、県に加えて地元佐倉市からも職員の方々が参加され、ボランティア団体の枠を超えて共同で作業することの大切さを実感しました。(飯島)

#### 東京

##### 感動にプラスα

東京・品川で一月二十六日、東京コミュニケーションシアター専門学校で学生さんによる骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」が上映されました。で千名の満場の観客が感動した興奮も絶頂に達したフイナル直後のことでした。

舞台の百二十人もの若者に迎えられる、登場した一人の娘さん——

「死に直面して初めて生きる意味を問いました。今までは、ただ漫然と過ごすだけでしたが、これからは、一日一日を大切に生きていこうと思います。私が、今、こうやって皆さんの前で話ができるのも、命を与えてくださったドナーの方のおかげです。そしてまた、たくさんの方が応援してくれました。ありがとうございます。」

万感の思いが込み上げ、時に言葉に詰まりながらも、この二十代の娘さんは、新たな生が与えられた喜びと感謝をこのように締めくくりました。

それと同時に、場内は、割れるような拍手と感動の渦に包まれ、観客と舞台は一体となり、生命への大賛歌となったのです。精一杯演じ終えた若者の清々しい笑顔と、命を得て、再び羽ばたこうとする若者の美しいハートモニーにいつまでも惜しみな拍手が続きました。

そして、夢にまで見た社会復帰です。(高橋)

#### 図書幹旋

##### 『マモ、天国の住所を教えてください』

白血病との闘い  
—17歳で逝ったわが子に捧げる母の手記—  
「やまがたの会」小野寺南波子著

●定価 1,600円 (払込みは1,280円、320円は扱い団体へ)  
山形市八日町1-3-45  
TEL0236(32)7016  
小野寺南波子 (返品可)

健康

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まっ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

フジテレビ

### 連合通信社

## 白血病治療

— きょうから明日へ —

秒進分歩する白血病治療  
第一線の医師が選択する治療法は…  
日本の白血病治療の全体像を紹介する  
最新情報 二、七〇〇円(送料三〇〇円)

日本つばさ協会編  
〒105 東京都港区芝1-4-9  
Tel 03-3454-1105  
Fax 03-3454-6559  
直接、連合通信社に

## 「健康」 私たちは知っています。

東京法規出版は、みなさまの健康づくりにお役に立つためのパンフレット、書籍、パネル、ビデオの企画・制作やグッズの販売、セミナーの企画運営を行っています。

〒110 東京都文京区白山1丁目7番6号 電話 03-3981-4386

21世紀の健康づくりを考える  
東京法規出版

